

山笠とこけ玉の思い出

井上 妙子

12年前「第22回全国都市緑化ふくおかフェア アイランド花どんたく」会場の園芸福祉の庭に於いてこけ玉の研修があり、シクラメンの紅白を使って2個のこけ玉を作りました。当時私は、福岡市緑のコーディネーター2期生受講中と青少年野外活動を主とした団体の事務局に居りました。

国際交流キャンプの時いつもお世話になる旅行会社の社長さんが数年の闘病の末ホスピス病院へ転院されましたので最後のお見舞いに行くことになりましたが、お見舞金は一切受け取られないのを知っていたのでシクラメンの赤のこけ玉を持っていきました。

葬儀の時に展示する写真や会場に流れる音楽など全て生前にプロデュースされたこと、シクラメンの花が好きだったことや山笠祭りでは毎年かついであったことなど、告別式の時にはじめて知りました。葬儀会場では「シクラメンの花」の曲も流れていました。ご焼香の時奥様が「こけ玉元気です」とつぶやかれ、看護師さん達や家族全員で枯らさないように頑張っ手入れされていたそうです。出棺の時に山笠仲間の方達が法被姿で博多一本メで見送られました。それから毎年11月になるとシクラメンのこけ玉の注文が10年続きました。1つは仏前に十数個は病院に持参されました。

山笠の時期になるといつも思い出されます。

あめ庭づくり奮戦記

「あめにわ憩いセンター」水澄まし庵づくり

角銅 久美子

私の住まいの庭には2本の大木があります。

子供たち3人家族5人、新築した時にシンボルツリーとして植樹したものです。

50年前のことです。当時10センチに満たなかった樹でしたが、今や双方とも幹の直径50センチ以上、2階の軒を超え空高く枝を張っています。東南に榎、西南に桜です。その間子供たちは巣立ち、夫も天国に旅たちました。

わが団地、樋井川5丁目50周年記念誌によると住民は786名80才の高齢者が16%（福岡市は5.5%）です。ほとんどが私と同じ境遇、独居後家です。私は旦那がああの世に行ってから「水と緑のまちづくり」を20年かかわりました。

その集大成として2階建ての家の1階を地域に開放することにしました。（みずすまし庵）建物と庭を1体化した空間づくりを、台湾花博で頑張った建築士であり園芸福祉士である木村洋子さんと園芸福祉ふくおかネットの井上妙子さん、山崎博子さんなどの協力を得て取り組むことにしました。

かかわりのある「あまみず社会研究会」の趣旨に沿った雨水を活用した「あめ庭づくり」です。我が家は上流にありますが、都市化により下流はたびたび浸水被害の憂き目にあいます。都市の雨水能力は100mmの雨が降ったとき57mmは処理できますがそれ以上の雨が急激に降ればあふれるとゆうことです。それで43mm以上の雨を貯留、浸透させてゆっくり流すそのため「あめ庭」をつくり、雨水で緑を育て緑に吸収してもらうことを実装するもので、7つの大学が「あ

まみず社会研究会」をつくり研究しています。この「あまみず社会研究会」の取り組みは、多くの人に理解してもらい広めていくものです。

「あめにわ憩いセンター」は多世代・時間をつなぐ空間として提供し、あまみず貯留の視える化、活用化をするもので、太陽熱による足湯、交流のためのコミュニティーガーデン・ワークショップ用学習室・会議室・会食機能をもっています。

樹木の持つ力は大きく、緑の空間に吹く風はかおり緑かがやき、人々に憩いを提供します。園芸福祉のあめ庭作りは、これから地域に根付き地域の人も、私自身も園芸福祉の恩恵に浴することになります。あめ庭完成の折には、またきちんと報告します。(みずすまし庵は完成・あめ庭は8月完成の予定です)



学習室でのワークショップ風景

夏を乗り切るアイテム 美味しい赤しそジュースで夏バテ防止！！

○材料

赤しそ	500g (2束くらい)
水	1. 8ℓ
砂糖	500g (ハチミツでも良い)
クエン酸	小さじ2杯 (酢、黒酢、リンゴ酢などでも良い)

※分量は目安です、素材やお好みに合わせて加減してお楽しみください。

○作り方

1. 赤しその葉を枝から切取って流水で水洗いする。
2. 沸騰した湯の中に赤しその葉を入れ、葉の色が変わったら、赤しその葉を引き上げる。
3. 煮汁に砂糖を加え、火を止め、クエン酸を加えると透明感が出て出来上がり、熱いうちに消毒した瓶に詰める。
4. 冷やして、炭酸で割ってスカッシュに、焼酎で割ってサワーに。

○栄養豊富でさわやかな赤しそジュースは、暑い夏に最適の健康飲料です。

○ジュースに使ったしその葉は、炒め物やふりかけなどひと手間とアイデア次第で美味しく楽しむことが出来て無駄になりません。

3月末からの主な活動の報告

- ◆ 3月30日（水）NHK文化センター福岡（博多区下川端3-1リバレインオフィス11階）で「癒しの苔玉 ビギナーのための作り方&育て方講座」を受講者16名で実施しました。はじめに映像で園芸福祉ふくおかネットの団体紹介などをして、こけ玉づくりは黒瀬 恵子さんが担当。今回使用した植物は、斑入りヤブコウジとムラサキオモト、皆さん始めの1個は苦戦されて少し時間がかかりましたが、2個目を作られるときには幾分慣れられたようで割りときスムーズに完成されました。体験された皆さんに苔玉づくりに真剣に取り組まれストレス解消に、楽しいひと時であったことを喜んで頂くことが出来た。お持ち帰り用にちょっとおしゃれな袋を用意してサービス。総支社長から、次回も実施したいので協力して欲しいとのお言葉がありました。



そして、6月20日にNHK文化センター福岡の総支社長より「おかげさまで受講者の皆さんからの反響も上々で、次回の講座を期待する声も多数いただいております。今秋、一日講座を再び当教室で開いていただけませんか。」とのお話を頂き、11月11日（金）10:00～開催することになりました。参加者の募集は8月末からの予定とのことです。

- ◆ 警固公園で開催された福博花しるべ花壇コンテストに出展し、優秀賞に輝きました。(´0`)／
花壇の制作は5名で行いました。花材はラベンダー、ナスタチューム、ペラルゴニューム、シバザクラ等々、春色の花たちとアクセントに竹の人形と水鏡、苔を配して完成しました。優秀賞を受賞できて、制作に関わった私たちも笑顔いっぱいになりました。



タイトル「春の花壇は笑顔がいっぱい」
笑顔の竹ファミリーとハートの水鏡



優秀賞受賞記念写真

- ◆ 5月4日（水）・5日（木）国営海の中道海浜公園での「癒しのこけ玉体験教室」を開催。



開始時刻は10時30分ですが、9時前から秋の日差しのなか受付横に順番待ちの行列ができていました。このところ「こけ玉づくりを楽しむために来ました！」と言って下さる方が増えています。こけ玉づくり講座は設立以来の十八番となっている活動なので大変うれしいことです。参加者に子どもさんが多いことからケト土の工程でなるべく手が汚れないで容易に作業が出来るように改良しました。それから開始時間を次回10月の開催から30分早めて参加者の待ち時間短縮を図ることになりました。

◆ 5月17日（火）公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会主催の緑のコーディネーター等研修会「夏花壇づくりと維持管理」が福岡市中央市民センターに於いて開催されました。園芸福祉ふくおかネット代表に講演して欲しいとの依頼で講師を務めました。受講者は市内各所で花壇づくりなどの活動を実践されている方が多く、みなさんの真剣な眼差しに幾分緊張しました。内容をしっかり伝えようと映像を活用しながら要点は出来るだけかみ砕いて説明しましたのでご理解しては頂けたようですが、時間が足りない状態で終わったことは反省しております。

◆ 5月25日から福岡市立特別支援学校「博多高等学園」の授業が始まりました。一回目は、学園前の街路花壇に植えるポーチュラカとマツバボタンの挿し芽と花壇の土づくりをしました。6月7日プラグトレイで育ったポーチュラカの苗を街路花壇に植付け、14日は生徒さんが種から育てたヒマワリの苗を植付けました。大きくなるヒマワリは交通の支障になるため矮性の種類を選んでいきます。いどり鮮やかなポーチュラカとマツバボタン、その上に緑の葉に黄色い花のヒマワリのラインが夏色花壇を演出します。

◆ 6月18日三重県多気町民文化会館で特定非営利活動法人日本園芸福祉普及協会の総会、「第15回園芸福祉シンポジウム in みえ」～園芸福祉活動の社会的インパクト～に参加しました。シンポジウムの基調発表は三重県立相可高等学校の生徒さんによる「相可高校での園芸福祉活動」「地域とつながる新しいビジネスモデル コスメ開発で園芸福祉の活性化」の二つがありました。以前発表して頂きました「孫ジェル」からさらに進化して、地域の特産品を活用した商品開発に取り組んであります。

活動報告は、「農福連携」と題して伊賀市霧生農福連携地域づくり協議会、一般社団法人三重県障がい者就農促進協議会、農事組合法人花みどりの里、三団体から取り組みについてお話があり、課題や解決のための取り組み、就労に結び付けるためには体験したり、交流するなどの過程を経てから相互の理解を図るなどの方策についても聞くことが出来全体に内容の濃いシンポジウムでした。交流懇親会は松阪市に移動してレストランであの「松阪牛」をお腹いっぱい堪能しました。

◆7月15日グリッピーキャンペーン2016(10月15・16日開催)の会場、舞鶴公園でコスモスの種蒔きがあり実行委員会のメンバーとして参加。福岡市役所の職員、(公財)福岡市緑のまちづくり協会の職員、二つの花づくり活動団体の会員の方たちと一緒に作業してきました。



事務局からのお知らせ

◆ 体験研修会のお知らせ(場所は、アイランドシティ中央公園内)

- ◎8月28日(日)13時～ 多肉植物の作品づくり
- ◎9月25日(日)13時～ ハンギングバスケットづくり

※資材準備の都合から参加を希望される方は、事務局へ申し込んでください。

◆ 年会費納入のご案内

- ◎園芸福祉ふくおかネットの年会費2,000円を郵便局よりお振込みください。お振り込み先は「園芸福祉ふくおかネット 口座番号 01770-7-57288」です。
- ◎前年度支払いが遅かった方やお忘れになっていた方も今回お早めをお願いします。

◆ 入会を希望される場合の手続きのご案内

- ◎園芸福祉ふくおかネットに入会を希望される方は、ご連絡の上年会費2,000円を郵便局より次の口座へお振込み下さい。口座名：園芸福祉ふくおかネット 口座番号：01770-7-57288

◆ 園芸福祉の庭定例作業のお知らせ

- ◎毎月、最終日曜日の10時から実施しております。

場所は、アイランドシティ中央公園 園芸福祉の庭(福岡市東区香椎照葉4丁目)です。

花壇の維持管理、花の植栽、花柄摘み、灌水や除草などの作業を12時頃まで。

作業の後は茶話会、活動の近況や花の育て方・土づくり、園芸に関する事など、日ごろの疑問に実践者が応えてくれるプチ勉強会、笑顔とこころ和やかなひと時です。午後体験研修会もしています。

あなたも一歩踏み出して! 「園芸福祉の庭」の定例作業に参加してみませんか。

会話も弾み、笑顔がいっぱいで、とっても楽しいですよー♪

◆ 定例会のご案内

- ◎園芸福祉ふくおかネットでは、毎月第3土曜日 15時から2時間程度

福岡市ボランティアセンター「あすみん」で定例会を開催しております。

事業活動の報告と計画、会員相互の活動報告、情報や意見の交換、作品の紹介、質問など役立つことがいっぱいです。定例会が終わってからの交流会は、本音が飛び交い、楽しい交流のひと時です。

※NPO・ボランティア交流センター「あすみん」(中央区今泉1-19-22 天神クラス 4階)

◆ **あなたも活動紹介をしませんか？**

- ◎ 個人やグループ、学校、施設、地域などで行っている園芸福祉の活動をお知らせ下さい。
- ◎ メールやFAX、お手紙に写真を添えて、次のページの事務局までお送りください。

● **園芸福祉ふくおかネット事務局** ●

- ・ 〒810-0033 福岡市中央区小笹 1-9-25
- ・ TEL : 090-8626-1586 (黒瀬)
- ・ FAX : 092-521-6247
- ・ E-mail : engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp
- ・ ホームページ : 園芸福祉ふくおかネット 検索



園芸福祉の庭のいま



(^^♪ 花たちは、とっても元気 be healthy (^o^)/